

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 35 号 2017 年 3 月

九州支部ウェブサイト
http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2016 年度 日本分析化学会九州支部
〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町 1 - 1
九州工業大学大学院 工学研究院 物質工学研究系

新旧支部長からのごあいさつ

支部長就任のご挨拶

2017年度、日本分析化学会九州支部長を務めさせていただく熊本大学（理学系）の戸田敬です。アウトローな経歴の身でこのような役をお引き受けするのは恐縮ですが、九州支部を益々活性化していければと思いますので、今年度一年間よろしくお願い申し上げます。

私は、熊本大学理学研究科修士課程を1985年3月に修了し、研究室の先輩でもあった技術部長の勧誘もあり、当時まだベンチャー色の強かった京都の会社（株）エステックに入社しました。もともとは、大気汚染の問題解決のため、通産省の音頭により分析メーカー6社が出資してできた企業でした。標準ガスの調製にかかる開発・製造が任務でしたが、そこで培われた技術を発展させ、分析化学分野ばかりでなく半導体プロセスに不可欠なガス流体制御（MFC）や液体気化供給などの分野で発展してきました。

私も、入社当時は主任と私のたった二人から成る開発課1係の一員として、製品のフォローもしながら新しいことにチャレンジさせてもらいました。特にマイクロファブリケーションを駆使したガスセンサや流量センサの開発や薄膜プロセスの研究に取り組みました。また、大阪大学や東北大学にも席を置かせていただき、特に東北大学ではMEMSの先駆的第一人者である江刺先生が助教授のときにお世話になり、2cm角のチップへの化学分析システムの構築に取り組みました。もっとも当初は、先生も会社もマイクロマシーニングによる超高速応答MFCデバイスを想定されていたようでしたが、学部時代の卒論とも関連したデバイスに取り組みさせていただきました。μTASとかLab-on-a-chipという名称が登場する以前の時代になります。さて、9年間のサラリーマン生活の後、縁あって熊本大学理学部化学科の助手としてアカデミックの分野に入ることになりました。その後、理学部に環境理学科が創設され、実政勲教授とともに配置換えになりました。そのため、分析化学に取り組みながらも環境化学関連の仕事にシフトし、現在は新しい分析法を駆使し、他の研究室では難しい分析、特に微量化学物質の連続モニタリングを通して、大気や水に関連するchemistryを追いかけています。昨年もオーストラリアグレートバリアリーフの珊瑚礁やロシアバイカル湖の氷上での研究や、富士山頂における大気観測などを行いました。フィールドワークも大切な研究の場となっています。

さて、2017年度は、副支部長に九州大学の井倉則之先生と堀場製作所の内原博様、庶務・会計幹事に大平慎一先生、田中明先生をお願いしています。本執行部をよろしくお願い申し上げます。本年度も定例の行事がございます。5月13日（土）には九州工業大学の佐藤先生のお世話で若手の会春の討論会（北九州）、5月24日（水）に機器分析ワークショップを長崎大学にて、7月28日（金）29日（土）には佐賀大学の梅木先生のお世話で第35回九州分析化学若手の会夏季セミナーが原鶴温泉にて開催される予定です。また、8月初旬には九州工業大学竹中先生のもと多くの講師や企業のご協力を得て第58回分析化学講習会が行われます。11月17日（金）に熊本で予定している幹事会では、会議に合わせて、講演会や先に紹介させていただいた堀場エステックの阿蘇工場見学会も計画しています。みなさま多くのご参加をお待ちしております。

（熊本大学 戸田 敬）



支部長退任のご挨拶

平成 28 年度九州支部長を務めさせて頂きました九州工業大学の竹中繁織です。退任にあたり、本年度の事業報告を行い、お礼を述べさせて頂きます。本年度は、例年になく色々なことがありました。平成 28 年 4 月に突然地震が熊本と大分を襲いました。これにより熊本、大分地区に多くの被害をもたらしました。一年あまりが経過しましたが、復興にはまだまだ時間がかかるようです。被災地の一日も早い復興を心よりお祈りしています。

5 月 14 日(土)に第 29 回九州分析化学若手の会・春の講演会が福岡大学にて吉田亨次(福大理)先生のお世話で開催されました。学生を中心に 100 名以上の参加があり、活発な討議がなされました。7 月 29-30 日(土)には、末田慎二(九工大情報工)先生のお世話で第 34 回九州分析若手の会夏季セミナーがみるきーすばサンビレッジ(大分県日田市天瀬)にて行われました。ここでは、第 53 回化学関連支部合同九州大会



でポスター賞受賞者 7 名による模範ポスター発表と招待講演者に対するベスト質問賞の 3 名が選出されました。この二つの事業は、九州支部の若手育成として重要であり、例年 100 名を超える参加者が続き、支部の若手活性化が継続的に行われていることを嬉しく思っています。6 月 11 日(土)に九州分析化学賞・奨励賞の選考委員会が九州工業大学戸畑キャンパスで行われました。それぞれ 1 名と 7 名の候補者を選出し、幹事会で承認されました。奨励賞も若手活性化の一つです。また、田中充(九大農)先生が分析化学会の奨励賞を受賞されました。

7 月 2 日(土)に先に述べた第 53 回化学関連支部合同九州大会が北九州国際会議場で行われました。本年度は、分析化学会九州支部は取りまとめ役となって実行しました。熊本・大分での震災の影響もあって参加者が若干少なくなったものの 1000 人近くの参加者がありました。残念ながら、他の学会支部に比べ発表件数が若干少ないようでありました。皆様には是非とも多くの参加をお願いする次第です。

8 月 3-5 日に分析化学講習会を九州大学伊都キャンパスと福岡大学で開催しました。本事業は、九州支部の社会貢献事業です。今後とも皆様のご協力をお願い致します。これに加え機器分析ワークショップを(株)ジェイ・サイエンス西日本様を中心となって熊本、大分で行いました。

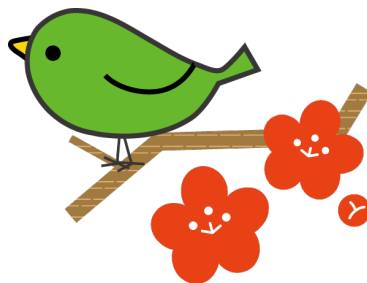
本年度、九州支部分析化学会九州支部創立 60 周年を迎えました。11 月 18 日(金)に記念式典を北九州国際会議場で行いました。式典では、鈴木孝治会長に祝辞を頂き、九州の分析関連企業への感謝状授与が行われました。鈴木孝治会長のお言葉と各支部の支部長から祝辞を頂きました。これらは、記念誌に掲載させて頂いております。また、元熊本大学学長、現国立高専機構理事長の谷口功先生、韓国から元ソウル国立大学教授、韓国電気化学会会長、現 Daegu Gyeongbuk Institute of Science and Technology の Hasuck Kim 先生、中国南京大学の Xing-Hua Xia 先生の記念講演会が行われました。九州はアジアに近いこともあって今後のアジア連携を意識した講演会となりました。また、鹿児島大学の肥後盛秀先生の九州分析化学賞の記念講演も行われました。総勢約 100 名の参加があり、その後行われた情報交換会では、来賓の先生や参与の先生からの祝辞も頂きました。会長から九州支部がこれまで行ってきた産学連携や若手育成プログラムが先駆けた活動であったことについて紹介があり、今後も各支部の模範となって頑張りたいとお言葉がありました。参加して頂いた方々にとりましては、九州支部の会員として今後も継続的に産学連携と若手育成を行い、分析化学会の発展に寄与することを心新たにしたい時であったと思います。本記念式典は皆様

のおかげ様で成功裡に終えることができました。最後に九州支部のこれまでの活動にご協力頂きました方々に深く感謝いたします。

本年度は、例年行われている支部主催の行事に加え、大きな二つの事業がありました。これらを何とか乗り越えることができたのも王子田彰夫（九大薬）、満尾 良弘（日鉄住金テクノロジー）両副支部長、佐藤しのぶ（九工大院工）庶務幹事、末田慎二（九工大情報工）会計幹事に加え多くの先生方のご協力のお陰と感謝しています。

次期支部長の熊本大学の戸田 敬先生の下、九州支部の益々の発展を念願致します。

（九州工業大学 竹中繁織）



:

支部活動報告

❖ 第29回 九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

期日：2016年5月14日（土）
主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部
会場：福岡大学中央図書館多目的ホール
世話人：吉田 享次（福岡大学理学部化学科）
*詳しくは支部ニュース第34号をご覧ください。

会九州支部、日本水環境学会九州支部、福岡県環境計量証明事業協会
会場：福岡市産学連携交流センター、九州大学伊都キャンパス、福岡大学理学部
実行委員長：下田 満哉（九大院農）
*実習内容の詳細は支部ニュース第34号をご覧ください。

❖ 第53回 化学関連支部合同九州大会 ❖

期日：2016年7月2日（土）
共催：(公社)日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部、北九州市
会場：北九州国際会議場
*九州分析化学ポスター賞4件を選出しました。大会の詳細は支部ニュース第34号及びWEBサイト(<http://godo-kyushu.jp/godo/index.html>)をご覧ください。

❖ 機器分析ワークショップ2016 in 熊本 ❖

期日：平成28年7月20日（水）
主催：日本分析化学会九州支部
協賛：(株)ジェイ・サイエンス・ラボ
(株)ジェイ・サイエンス西日本
サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)
会場：熊本大学工学部
*詳しくは支部ニュース第34号をご覧ください。

❖ 第34回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

期日：2016年7月29日(金)–30日(土)
主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部
会場：みるきーすばサンビレッチ（大分県日田市）
世話人：末田 慎二（九工大院情報工学研究院）
*九州分析化学若手賞（ポスター賞）7件、ベスト質問賞7件を選出しました。詳しくは支部ニュース第34号をご覧ください。

❖ 機器分析ワークショップ2016 in 大分 ❖

期日：平成28年10月26日（水）
主催：日本分析化学会九州支部
協賛：(株)ジェイ・サイエンスグループ
(株)ジェイ・サイエンス・ラボ
(株)ラウンドサイエンス
(株)ジェイ・サイエンス西日本
会場：大分大学（産学官連携推進機構）
講演題目：
・ 古賀啓子 様（(株)ジェイ・サイエンス西日本・技術顧問）
「新技術、粉体大気圧プラズマ表面処理技術について」
・ 西口講平 様（(株)ジェイ・サイエンス・ラボ：ガス交換部）
「浮遊微粒子中金属及びガス状金属のリアルタイム測定」
・ 森田正義 様（(株)ジェイ・サイエンス・ラボ：元素分析室）
「灰分回収可能な省スペース小型有機元素分析装置の紹介」

❖ 第57回 分析化学講習会 ❖

期日：8月3日（水）～5日（金）
主催：日本分析化学会九州支部
共催：福岡市、九州大学学術研究都市推進機構、日本化学会九州支部、電気化学会九州支部、日本薬学会九州支部、日本食品科学工学会西日本支部、日本農芸化学会西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、日本臨床化学

* (株) ジェイ・サイエンス西日本の川上様のご尽力の元、九州各地で機器分析ワークショップを以上の通り開催しました。参加者へのアンケート調査の結果は、たいへん好評でした。

❖ 第33回イオンクロマトグラフィー討論会 ❖

期日：2016年12月1日(木)～2日(金)

主催：日本分析化学会イオンクロマトグラフィー研究懇談会

共催：日本分析化学会九州支部

協賛：熊本市国際コンベンション協会

会場：熊本市国際交流会館

世話人：大平 慎一(熊本大学先端科学研究部基礎科学部門)

内容：イオン分析に関連する前処理・分離・検出法など

討論主題：プレカラムとポストカラム～分離の前後における革新技术～

参加者：65名

❖ 日本分析化学会九州支部創立60周年記念会 ❖

期日：2016年11月18日(木)

主催：日本分析化学会九州支部

会場：北九州国際会議場

実行委員長：竹中 繁織(九工大院工)

参加者：108名

内容：

- ・ 記念行事

日本分析化学会 鈴木孝治会長 挨拶

幹事企業への感謝状授与

企業代表挨拶 (株)島津製作所 九州支店 木下英治様)

50周年以降の10年の流れ (日本分析化学会九州支部 支部長 竹中 繁織)

- ・ 記念講演会

谷口 功 先生 (独) 国立高専機構理事長)

Functional Electrodes for Bio-electrochemical Analysis of Biological Molecules and Their Applications

(生体分子の生物電気化学的解析のための機能電極とその応用)

Prof. Hasuck Kim (Daegu Gyeongbuk Institute of Science and Technology, Korea)

Metal Ion Sensings by Selective Molecular Recognition

Prof. Sing-Hua Xia (Nanjing University)

Nanofluidics Based Bioanalysis

肥後 盛秀 先生 (鹿児島大学)

Morphology Control of Metal Thin Films and Its Application in Analytical Chemistry

(金属薄膜の形態制御と分析化学における利用に関する研究)

- ・ 懇親会 ステーションホテル小倉

分析化学会九州支部は、1957年(昭和32年)4月1日に行われた分析化学会の総会でその設立が承認され、6月1日に九州大学工学部講堂でその発会式が行われてから今年で60周年を迎えました。本年度(2016年)11月18日に北九州国際会議場にて記念式典と記念講演会が行われました。各支部の支部長からの祝辞を頂きました。これらは、記念誌に掲載させて頂いております。式典では、鈴木孝治会長に祝辞、九州の分析関連企業への感謝状授与が行われました。また、元熊本大学学長、現国立高専機構理事長の谷口功先生、韓国から元ソウル国立大学教授、韓国電気化学会会長、現 Daegu Gyeongbuk Institute of Science and Technology の Hasuck Kim 先生、中国南京大学の Xing-Hua Xia 先生の記念講演会が行われました。九州はアジアに近いこともあって今後のアジア連携を意識した講演会となりました。また、鹿児島大学の肥後盛秀先生の九州分析化学賞の記念講演も行われました。約100名の参加者があり、その後行われた懇親会では、来賓の先生や参与の先生からの祝辞を頂きました。会長から九州支部がこれまで行ってきた産学連携や若手育成プログラムが先駆けた活動であったことについて紹介があり、今後も各支部の模範となって頑張りたいとお言葉がありました。九州支部の会員として今後も継続的に産学連携と若手育成を行い、分析化学会の発展に寄与していこうということで記念式典を成功時に終わることができました。九州支部のこれまでの活動にご協力頂きました方々に感謝いたします。



分析化学会九州支部60周年事業記念式典での参加者集合写真

❖ 2016年度支部見学会 ❖

2016年11月19日(土)、九州支部創立60周年記念会の翌日にTOTOミュージアム(北九州市小倉北区中島2-1-1)への支部見学会を行いました。参加者は、60周年記念会の招待講演者であるHasuck Kim先生、Sing-Hua Xia先生、肥後盛秀先生を含め総勢30名でした。日本近代化の一翼を担ったTOTO創業のルーツ、TOTOがこれまで作り出した水まわりの文化と歴史、アメリカ、中国、アジア・オセアニア、欧州などへのTOTOの世界展開などについて幅広く学びました。



❖ 会議等 ❖

● 九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会

期日：2016年6月11日(土)

会場：九州工業大学戸畑キャンパス教育研究8号棟
3階C-303号

*2016年度九州分析化学会賞受賞者1名、九州分析化学奨励賞受賞者7名については、支部ニュース第34号をご覧ください。

● 2016年度第1回常任幹事会

期日：2016年6月18日(土)

会場：九州工業大学戸畑キャンパス教育研究8号棟
3階C-303号

● 学会賞等候補者推薦委員会

期日：2016年11月18日(金)

会場：北九州国際会議場2階22会議室

● 2016年度幹事会

期日：2016年11月18日(金)

会場：北九州国際会議場2階22会議室

● 2016年度第2回常任幹事会

期日：2017年2月18日(土)

会場：九州工業大学戸畑キャンパス教育研究8号棟
3階C-303号

本部関連

❖ 第77回 分析化学討論会 ❖

期日：2017年5月27日（土）～28日（日）

会場：龍谷大学深草学舎（京都市）

討論主題：

1. DNAから見える世界～生物を通じて環境を測る
2. 次世代医療を見据えた生体高分子分析の最前線
3. 次世代分離システムの構築を目指して
4. X線を利用した有機材料の先端分析
5. 分野を横断して活きる電気分析化学
6. 品質保証を支える分析技術
7. 分析化学における実験データの正しい扱い方（一般公開）
8. お酒の科学（一般公開）

実行委員長：藤原 学（龍谷大学理工学部）

*詳細は以下のWEBサイトをご覧ください。

<http://conference.wdc-jp.com/jsac/touron/77/contact.html>

❖ 日本分析化学会 第66年会 ❖

期日：2017年9月9日（土）～12（火）

会場：東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）

講演申込開始 5月8日（月）

講演申込締切 6月7日（水）予定

実行委員長：宮村 一夫（東京理科大学理学部）

*詳細は以下のWEBサイト並びに「ぶんせき」誌を御覧下さい。<http://www.jsac.or.jp/66nenkai/>

❖ Analytical Sciences 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。Analytical Science 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行っています。例えば、J-STAGE によるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号の“Hot Article”選定と表彰、年間最多引用論文賞

“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci. 誌へご投稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci. 誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci. 誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。また、「分析化学」などの他誌も可愛がっていただき、機会があればご投稿ください。

❖ 2017年度 支部からの役員 ❖

理事：肥後 盛秀（鹿児島大理工）

代議員：横山 拓史（九大院理）、山口 敏男（福岡大理工）、今坂 藤太郎（九大院工）、中野 幸二（九大院工）、井原 敏博（熊本大院自然科学）、下田 満哉（九大院農）、浜瀬 健司（九大院薬）、椛島 力（長崎大院医歯薬）、澤津橋 徹哉（三菱重工業（株））

編集委員：

「ぶんせき」富安 卓滋（鹿児島大院理）

「分析化学」藪下 彰啓（福岡教育大）

「Analytical Sciences」宗 伸明（佐賀大院農）

❖ 入会を歓迎します ❖

日本分析化学会の正会員と学生会員の合計は2016年12月時点で4500人を切っており、年々減少の傾向にあります。あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。

今後の支部活動計画

❖ 支部活動・事業予定 ❖

● 第30回 九州分析化学若手の会 春の講演会

期日：2017年5月13日（土）13:30～

会場：北九州国際会議場

講演：

・新しいセンシング機構を組み込んだ蛍光プローブのデザインと応用

（九大院薬）王子田 彰夫

・蛍光タンパク質と特殊な酵素反応系を組み合わせた細胞内タンパク質の蛍光ラベル化技術の開発

（九大院理）末田 慎二

・熱分析を利用した生体分子相互作用解析について（ティー・エイ・インスツルメント・ジャパン(株)）

麻見 安雄

・熱分析から低分子薬剤の探索・設計に挑む

（東大院工）長門石 暁

世話人：佐藤 しのぶ（九工大院工）

● 第54回 化学関連支部合同九州大会

期日：2017年7月1日（土）

会場：北九州国際会議場（北九州市）

発表申込期間：3月1日（水）～ 31日（金）

予稿原稿締切：5月12日（金）

発表形式：特別講演（1件）、依頼講演（8件）、一般講演（ポスター発表のみ）

支部推薦依頼講演：

・量子ビームを用いたイオン液体の物性分析

（佐賀大学）高椋 利幸

代表世話人：清水 康博

（長崎大学、電気化学会九州支部支部長）

*詳細は下記WEBサイトをご覧ください。

<http://godo-kyushu.jp/godo/index.html>

● 第35回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー

期日：2017年7月28日（金）～ 29日（土）

会場：原鶴温泉 ホテルパーレンス小野屋（福岡県

朝倉市杷木久喜宮 1841-1, TEL 0946-62-1120）

内容：

・九州分析化学若手の会総会

・九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演

・依頼講演（2件）

東京大学 吉本 敬太郎 先生

未定（北海道支部との交流事業、講師派遣要請中）

・模範ポスター発表（九州分析化学ポスター賞）

・一般ポスター発表

・懇親会

参加費：一般 ¥9,000、会員学生 ¥8,500、非会員学生 ¥9,000（予定）

世話人：梅木 辰也（佐賀大院工）

❖ 2017年度 支部執行部・役員 ❖

● 執行部

支部長： 戸田 敬（熊本大学先端科学）

次期支部長： 高椋 利幸（佐賀大院工）

副支部長： 井倉 則之（九大院農）

内原 博（堀場製作所）

監査： 竹中 繁織（九工大院工）

満尾 良弘（日鉄住金テクノロジ一(株)）

庶務幹事： 大平 慎一（熊本大学先端科学）

会計幹事： 田中 明（熊本大学先端科学）

● 常任幹事（13名）

（九工大・福教大） 原田 雅章（福教大）

（九大院工） 森 健（九大院工）

（九大院理） 宇都宮 聡（九大院理）

（九大院薬・第一薬大） 浜瀬 健司（九大院薬）

（九大院農・九産大・福岡女子大）

石川 洋哉（福岡女子大）

（九大筑紫・近大産理工） 原田 明（九大筑紫）

（福岡大） 吉田 秀幸（福大薬）

（佐賀） 宗 伸明（佐賀大院農）

（長崎・熊本） 中山 守雄（長崎大院医歯薬）

（長崎・熊本） 井原 敏博（熊本大院自然科学）

（大分・宮崎） 大島 達也（宮崎大学）

（鹿児島・沖縄） 神崎 亮（鹿児島大院理）

（企業・官公庁）

川上 健次（(株)ジェイ・サイエンス西日本）

事務局より

❖ 各賞推薦依頼および規定 ❖

▼ 九州分析化学会賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として九州在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会の正会員にして、分析化学に関する研究、教育及び九州支部の運営において功績が顕著であり、九州の分析化学の発展に多大なる貢献をした者で、受賞の年の1月1日現在、原則として20年間以上引き続き本会会員であり、満65歳以下の者。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の業績目録、被推薦者本人による業績内容の説明文（図表等を含めA4紙4枚程度、教育・支部運営についてA4紙1枚程度、英文可）の正本1部、写し9部（計10部）を4月末日までに支部長に送付。

▼ 九州分析化学奨励賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として、九州に在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会会員で、受賞年度の4月1日において満30歳未満の者。ただし、修士課程（博士前期課程）及び博士課程（博士後期課程）に在籍する場合には満35歳未満の者。非会員は受賞時までに日本分析化学会の入会申請をしなければならない。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の論文目録、講演題目のリスト及

び論文等の別刷りの一部（複数可）、さらに被推薦者本人による研究内容の説明文（A4紙2枚、英文可）及び図表等（5枚程度）の正本1部、写し8部（計9部）を指定期日（受付期間：4月1日～4月30日）までに支部長に送付。

※募集要項の詳細は支部のホームページをご覧ください。申請に必要な書類ファイルもダウンロードできます。

❖ 編集後記 ❖

“4月”の声もそこに聞こえ、皆様も年度別の雑務にご多忙の事と拝察申し上げます。

九大院工の財津先生から訳もわからぬまま引き継ぎ、1つ1つ勉強しながら何とか一年間務めさせて頂きました。これもひとえに竹中支部長を始めとする事務局の皆様のお力添えがあったからと改めて感謝しているところです。

2017年度は大学側副支部長を九州大学大学院農学研究院の井倉則之先生にバトンタッチ致します。戸田次期支部長、井倉次期副支部長のもと、九州支部が更に発展をしていくことを祈念しております。

皆様には一年間の御支援に感謝いたしますとともに、次年度も日本分析化学会九州支部への一層の御指導、御支援をお願い申し上げます。

（副支部長 王子田 彰夫）



2016 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町 1 - 1
九州工業大学大学院 工学研究院 物質工学研究系

支部長	竹中 繁織 (九州工業大学大学院工学研究院) shige@che.kyutech.ac.jp / 093-884-3322
副支部長	王子田 彰夫 (九州大学大学院薬学研究院) ojida@phar.kyushu-u.ac.jp / 092-642-6596
副支部長	満尾 良弘 (日鉄住金テクノロジー株式会社) mitsuo-yoshihiro@nsst.jp / 093-872-5416
庶務幹事	佐藤 しのぶ (九州工業大学大学院工学研究院) shinobu@che.kyutech.ac.jp / 093-884-3386
会計幹事	末田 慎二 (九州工業大学大学院情報工学研究院) sueda@bio.kyutech.ac.jp / 0948-29-7834